

会議名	令和3年(2021年)度第1回愛荘町立歴史文化博物館協議会
開催日時	令和3年(2021年)5月27日(木)午後3時～午後4時
開催場所	愛荘町立歴史文化博物館 研修室
出席者	【委員】6人 岡部委員長、門脇委員、梅原委員、小川委員、村川委員、大橋委員
事務局	【事務局】6人 徳田教育長 上林博物館長、三井課長補佐、 大友学芸員、山本学芸員、西連寺学芸員
傍聴者	(公開) 傍聴者なし
議 題	開催に先立ち、村田委員の御逝去を報告、黙禱を行う 1、令和2年度事業報告 2、令和3年度事業計画および経過報告 3、意見交換
問合せ先	歴史文化博物館 電話番号:0749-37-4500

協議内容	<p>議題 1、について 事務局より資料に基づき報告し、令和 2 年度第 2 回協議会報告(書面による報告)後に開催された事業の結果を併せて報告した。</p> <p>議題 2、について 事務局より資料に基づき、令和 3 年度事業実施状況および計画について報告した。</p> <p>議題 3、について 意見交換において委員より下記の質疑応答があった。</p> <p>【今年度のコロナ対策について】</p> <p>(委員) 特別展開催中に「ギャラリートーク」を実施しているが、参加者の町内・町外別は分るのか？</p> <p>(事務局) 毎回、参加者には名前の記帳をお願いしているが、今回はコロナ対策もあり、住所も確認している。町内の方が多く、6割ほどを占めている。</p> <p>(委員) 郷土の偉人館だが、秦荘地域の偉人しか採り上げていない。愛知川地域の偉人についても展示してほしい。 ふるさと展が終わったあと、PRも兼て街道交流館などで再度展示をしてほしい。セキュリティの関係で難しい点もあるだろうが、工夫してほしい。</p> <p>(事務局) 郷土の偉人館については、展覧会の調査をしていると、愛知川地域でも多くの名を残すべき篤志家や教育者が挙がってくるので、今後、そういう人たちを紹介できたらと思う。 前回、展示で作成したパネル等を愛知川地域で再度展示したいとの話があり、パネルの置き換えを行ったが、それ以上話が進展しなかった。今でもパネルを置き換えているが、今後、機会があればパネル等の利用は可能である。</p> <p>(委員) 可能なら展示をビデオで録画して、関心ある方々に見ていただくのはどうか。工夫や労力をかけて展示を行っているのだから、より多くの人たちに見てもらう機会を提供できたらと思う。</p> <p>(事務局) ふるさと展を終わった後、使用した展示パネルなど、全部集落に差し上げている。自治会の文化祭などに利用していただくためだが、先に提案いただいたように、町の施設で場所と時間の調整が可能なら、今後協議を行っていきたい。ただし、実物資料や作品については警備等の面で出品することは困難な</p>
------	---

面が多い。

(委員)

自治体史が刊行されても、若い人たちは読まないし、歴史についても興味が薄い人が多い。集落に伝わる祭りなどもパネル展示を行うことによって、一度見に行こうというきっかけが生じるのかもしれない。

(委員)

展示解説やギャラリートークを実施しているが、展示解説については事前申し込みなしで行っており、聞きに来た人で密になることはないか。

(事務局)

現時点で制限や規制をするような事態は生じていない。

(委員)

展示解説は続けて欲しい。もう少し、そういう機会を増やすことは可能か。

(事務局)

展示解説日以外でも、来館者の希望によっては担当者が展示説明を行うこともある。回数を増やすことについては、また館内で協議して行く。

(委員)

外部の施設で展示を行うことについては、いろいろ難しい点があるのではないかと。博物館では可能でも、各施設の設備面の相違などもある。

ふるさと展については、展示可能な集落から順次開催したので、段々難しくなっているように思う。ふるさと展開催当初は、地域でも多くの人々に協力いただいた。

市町の博物館というのは、このような展示がいちばん大事だと思う。地域にはまだまだ掘り起こすべき歴史や文化がある。こうしたことを続けていかなければ、市町の博物館の本質を見失うことになるので、職員自身、多くの業務を抱え無理しているところもあろうかと思うが、がんばってほしい。

【展示見学】